

機能別に分類した

技術計算 ソフトウェア

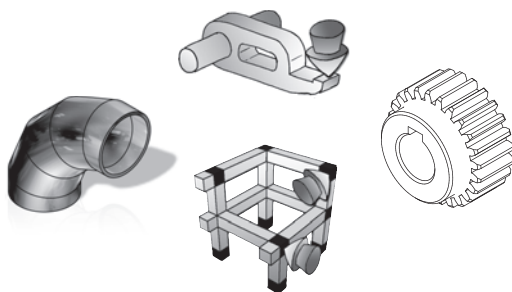


CADT00L フローティングライセンス版

FEM / メカニカル / フレーム構造解析 / 板金展開 対応版

マルチパッケージサーバー v4
インストールマニュアル

INSTALL MANUAL



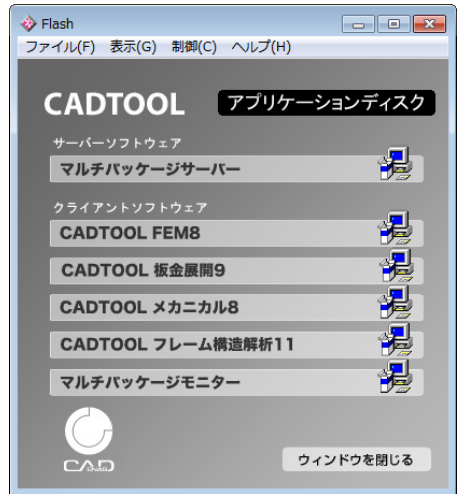
キャデナス・ウェブ・ツー・キャド株式会社

第1章 CADTOOLマルチ4パッケージサーバーの導入

1. インストーラの起動

起動している他のアプリケーションがあればすべて終了し、CADTOOL マルチパッケージ CDをドライブに挿入します。マルチパッケージのインストール用メニューが自動実行されます。CDが自動実行されない場合には直接実行を行って下さい。

メニューより[マルチパッケージサーバー]をクリックするとライセンスサーバーのインストールが開始されます。



直接実行する場合は、

[スタートメニュー] → [ファイル名を指定して実行] をクリックします。

[ファイル名を指定して実行] のウィンドウが表示されます。

[名前欄] に以下のように入力し、[OK] をクリックします。

E:\multi_ist.exe (CD-ROMのドライブがEドライブの場合)

またインストーラを直接実行する場合には、マイコンピュータよりCD-ROMの入ったドライブを右クリックし、「開く」を選択しCD-ROMを直接開きます。開いたウィンドウより「server」フォルダを開き、フォルダ内のsetup.exeを実行します。

直接実行する場合は、以下を指定します。

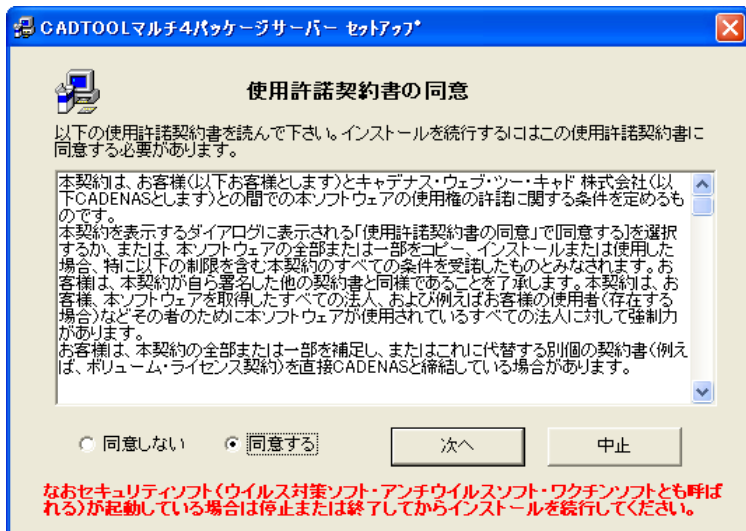
E:\server¥setup.exe (CD-ROMのドライブがEドライブの場合)



CADTOOLをインストールする時は、必ず Administrator 権限でインストールを行ってください。

2. セットアップの開始

セットアッププログラムが起動すると初期化ファイルのコピーを行った後、ソフトウェア使用許諾契約書の画面が表示されます。

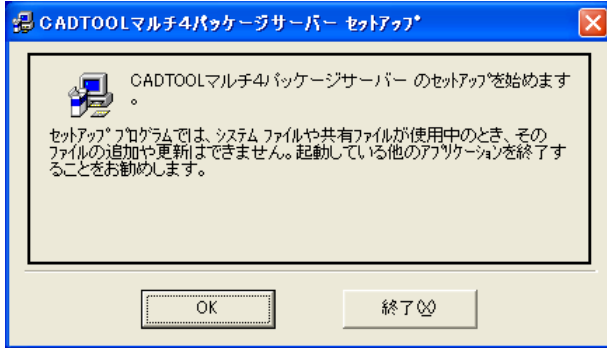


CADTOOLマルチ4パッケージサーバーをインストールして使用するにはこの使用許諾契約書に同意する必要があります。スクロールして全ての文書に目を通して同意できる場合はオプションボタンの「同意する」をクリックすると「次へ」のボタンが押せるようになりますので次に進みます。

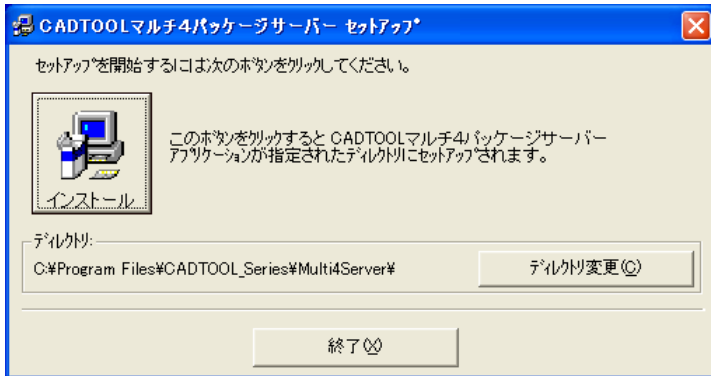
なおこのダイアログ下段にも表示されているようにセキュリティソフトは必ず停止または終了してからインストールを続行してください。

同意できない場合は「中止」ボタンをクリックして下さい。中止すると初期化ファイルが削除されセットアップは中止されます。

続いて「CADTOOLマルチ4パッケージサーバー」セットアップ開始画面が表示されます。ここでも終了すると初期化ファイルが削除されセットアップは中止されます。



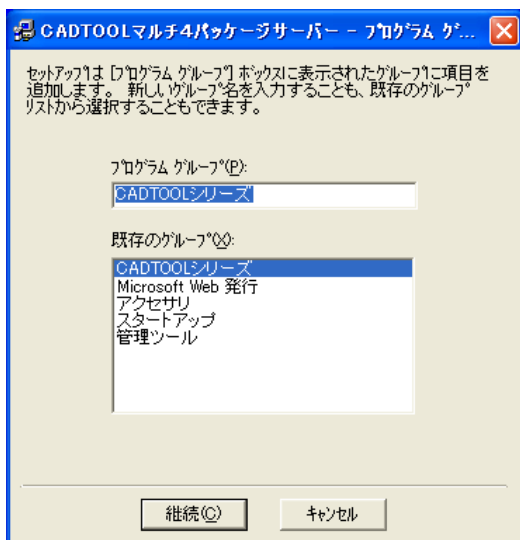
[OK] ボタンをクリックすると次の画面が表示されます。



ここで左上の大きなボタンをクリックするとインストールが開始されます。インストール先のディレクトリを変更したい場合は [ディレクトリ変更] ボタンをクリックして変更することができ、変更したディレクトリがない場合は新規にディレクトリが作成されます。ただしアンインストールする可能性があれば専用のディレクトリにインストールするようにしてください。

またルートディレクトリにはインストールしないで必ずサブディレクトリにインストールして下さい。通常はこのままでかまいません。

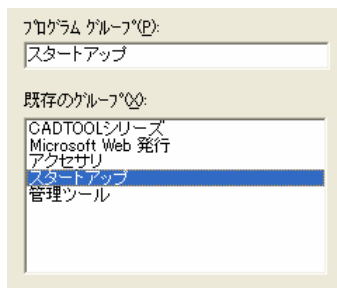
次にプログラムグループを選択する画面が表示されます。



標準の設定では [CADTOOL シリーズ] というプログラムグループが作られそこに [マルチ 4 パッケージサーバー] が追加されるようになっています。ここで [継続] ボタンをクリックするとプログラムのインストールが開始されます。

セットアップが完了すると [スタートメニュー] > [プログラム] に [CADTOOL シリーズ] グループが追加され、その中に [マルチ 4 パッケージサーバー] ができ標準の設定ではここから起動するようになります。

コンピュータ起動時に自動でライセンスサーバーを起動したい場合はプログラムグループの選択で右に示すように [スタートアップ] を選択するとスタートアップの中に [マルチ 4 パッケージサーバー] ができコンピュータ起動時に自動で起動するようになります。

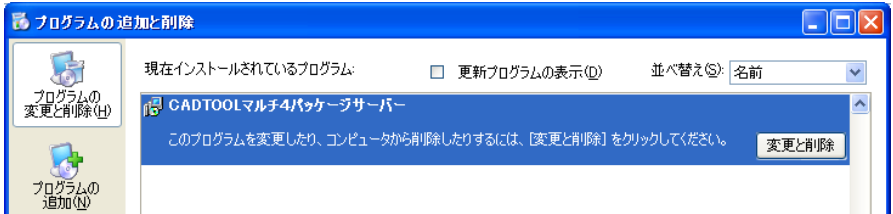


スタートアップには後からマニュアルで追加することも可能で、またショートカットをデスクトップに作っておきそこから起動するような使い方もできます。使用頻度や運用方法等により使いやすい方法を選択して下さい。なおスタートアップに追加する場合やショートカットの作成については Windows のマニュアルを参照して下さい。

3. アンインストールする場合

[CADTOOLマルチ4 パッケージサーバー] が起動している場合は終了します。

[スタートメニュー] > [コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] のウィンドウが表示されますので [アプリケーションの追加と削除] のアイコンをクリックして次のウィンドウを表示します。



一覧から [CADTOOLマルチ4 パッケージサーバー] を選択して [変更と削除] ボタンをクリックするとアンインストールできます。

4. アンインストール後の処理

アップデート等を実行するとアンインストールしてもインストールしたディレクトリやそのディレクトリにファイルが残ることがあります。

またOSに関係なくユーザーフォルダの下に作業フォルダを作って終了時のダイアログの位置を保存した起動時デフォルトデータや後で説明するログファイルが作られることがあります。標準では下記のパスが作業フォルダになります。

Windows XP,VISTAの場合

C:\¥Document and Settings¥****¥Local Setting¥Application Data¥CADTOOL_Series¥Multi4Server

Windows7以降の場合

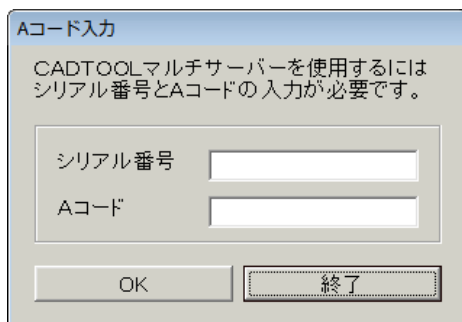
C:\¥Users¥****¥AppData¥Local¥CADTOOL_Series¥Multi4Server

ここで****の部分はログオンユーザー名になりますのでユーザー毎に変わってきます。インストールしたディレクトリと作業フォルダに他のアプリケーションや必要なデータファイルが入っていない場合はアンインストール後にインストールディレクトリと作業フォルダを削除してください。

第 2 章 ライセンスサーバーの起動

1. シリアル番号・Aコード（オーソライゼーションコード）入力

インストール直後に [スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [CADTOOL シリーズ]（プログラムグループにスタートアップを選択した場合は [スタートアップ]）> [マルチ 4 パッケージサーバー] をクリックして [CADTOOL マルチ 4 パッケージサーバー] を起動すると次に示す A コード入力ダイアログが表示されます。また [スタートアップ] に登録した場合はコンピュータを再起動しても表示されます。



Aコード入力

CADTOOLマルチサーバーを使用するには
シリアル番号とAコードの入力が必要です。

シリアル番号

Aコード

OK 終了

ここでユーザー登録用紙に記載されているCADTOOLマルチ4パッケージサーバーのシリアル番号とAコードを入力します。

ここで [OK] ボタンをクリックするとそれらが適正なものであればAコードが登録され、続いてサーバーライセンス入力ダイアログが表示されます。不適正なものを入力した場合はメッセージが表示されますので再度入力してください。

シリアル番号とAコードが登録されると次回起動時からこのAコード入力ウィンドウは表示されません。

シリアル番号、Aコードを登録する場合は、必ず **Administrator** 権限で行ってください。

2. サーバーライセンス入力

Aコード入力が完了すると次に示す[サーバーライセンス入力]ダイアログが表示されます。以下にこのダイアログの操作を説明します。

サーバーライセンス入力

①ライセンス認証に使うホストIDを選択する
 ホストID: 認証情報削除

②申請するライセンス数を入力する

FEMライセンス数		フレーム構造解析ライセンス数		
Ver6:	<input type="text" value="0"/>	2D	3D	動解析
Ver7:	<input type="text" value="0"/>	Ver8:	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
Ver8:	<input type="text" value="0"/>	Ver9:	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
		Ver10:	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
		Ver11:	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>

メカニカルライセンス数

Ver7:
 Ver8:

板金展開ライセンス数

Ver9:

③下のリクエストコードを申請してライセンスコードを発行してもらう
 リクエストコード 一旦終了

④発行されたライセンスコードを入力して認証ボタンをクリックする
 ライセンスコード 認証

①ライセンス認証に使うホストIDを選択します。ネットワークアダプタが1つの場合はホストIDも1つしかありませんが複数のネットワークアダプタがある場合はリストボックスからライセンス認証に使うホストIDを選択して下さい。

②申請するライセンス数を入力します。ここにはユーザー登録用紙に記載されているFEM、メカニカル、板金展開、フレーム構造解析の2D、3D、動解析のそれぞれのパッケージの「許諾ライセンス数」を入力して下さい。

なお各パッケージがバージョンアップした場合には最新バージョンのライセンス数の入力欄が追加されるようになっています。その画面を反映した最新のマニュアルについてはアップデート後にサポート情報がポップアップメニューでマニュアルpdfを開いて確認してください。

③リクエストコード表示欄に表示されているライセンスコードをユーザー登録用紙のリクエストコード記入欄に記入してください。

その他ユーザー登録用紙に必要事項を記入して下記にFAXして下さい。

キャデナス・ウェブ・ツー・キャド(株)ユーザー登録係 FAX 03-5961-5032

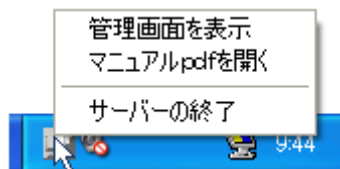
ライセンスコードが発行されるまで[一旦終了] ボタンをクリックしてプログラムを終了します。

④ライセンスコードが発行されたら再度[CADTOOLマルチ4パッケージサーバー] を起動すると上記のダイアログが開きますので発行されたライセンスコードを入力して[認証] ボタンをクリックします。

ライセンスコードが認証されると右に示すようにタスクトレイに[CADTOOLマルチ4パッケージサーバー] のアイコンが表示されます。



このアイコンを右クリックするとポップアップメニューが表示され、ここからライセンスサーバーの管理画面の表示やマニュアルpdfを開いたりサーバーの終了を行います。



なおリクエストコード表示欄の右にあるボタンでリクエストコードをクリップボードにコピーすることができ、ライセンスコード入力欄の右にあるボタンでクリップボードからライセンスコードを貼り付けることができます。通常は使いませんがメールでのやり取りが必要になった場合に利用すると便利です。

またダイアログ右上にある[認証情報削除] ボタンをクリックすると登録したシリアル番号とAコードの情報が削除され1のAコード入力からやり直すことができます。

3. ライセンスサーバーの管理画面について

タスクバーのアイコンを右クリックしてポップアップメニューから「管理画面を表示」をクリックすると次に示すライセンスサーバーの管理画面が表示されます。

CADTOOL マルチパッケージ ライセンスサーバー

FEM

Ver6ライセンス数:	0	起動数/残:	0/0
Ver7ライセンス数:	0	起動数/残:	0/0
Ver8ライセンス数:	1	起動数/残:	0/1

起動コンピュータ名(ユーザー名)

メカニカル

Ver7ライセンス数:	0	起動数/残:	0/0
Ver8ライセンス数:	1	起動数/残:	0/1

起動コンピュータ名(ユーザー名)

板金展開

Ver9ライセンス数:	1	起動数:	0/1
-------------	---	------	-----

起動コンピュータ名(ユーザー名)

サーバー情報(クライアントに設定する)

ホスト名: HOSTNAME

IPアドレス: 192.168.0.1

ポート番号: 59900

通信待ち回数: 3

待ち回数変更

フレーム構造解析

	2D	3D	動解析
Ver8ライセンス数:	0	0	0
起動数/残:	0/0	0/0	0/0
Ver9ライセンス数:	0	0	0
起動数/残:	0/0	0/0	0/0
Ver10ライセンス数:	0	0	0
起動数/残:	0/0	0/0	0/0
Ver11ライセンス数:	0	0	1
起動数/残:	0/1	0/1	0/1

2D 起動コンピュータ名(ユーザー名)

3D 起動コンピュータ名(ユーザー名)

動解析 起動コンピュータ名(ユーザー名)

ポート番号変更 バージョン情報 タスクトレイに
アップデート設定 入れる

ここには各パッケージの許諾ライセンス数が表示されます。起動数の欄は“/”の右側の数字が最大起動台数となり、左側の数字が実際に起動している台数となります。

フレーム構造解析では2Dのコマンドの最大起動台数は2Dと3Dと動解析のライセンス数の合計となり、3Dのコマンドの最大起動数は3Dと動解析のライセンス数の合計となります。

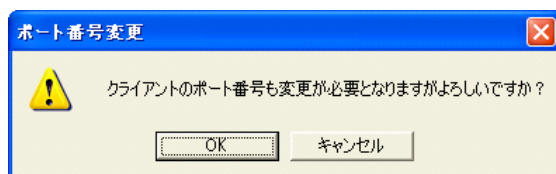
上の例のようにフレーム構造解析で2D、3D、動解析のライセンス数が各1の場合は2Dのコマンドは最大3台のコンピュータで実行でき、3Dのコマンドは最大2台のコンピュータで実行できることとなります。なお2Dのコマンドの範囲は「フレーム構造解析＊／2D」のマニュアルを参照して下さい。

またそれぞれの表示欄には起動中のコンピュータ名とユーザー名が表示されるようになっています。なおフレーム構造解析の場合はバージョンに応じてコンピュータ名の前に“V 8”か“V 9”、“V 10”が付いて表示されます。

なお各パッケージがバージョンアップした場合には最新バージョンの許諾ライセンス数と起動数の表示欄が追加されるようになっています。その画面を反映した最新のマニュアルについてはアップデート後にサポート情報ポップアップメニューでマニュアル p d f を開いて確認してください。

サーバー情報欄にはクライアントに設定する項目が表示されますので、後で説明するようにこれらを各クライアントで設定します。各表示欄右にあるボタンはクリップコピーボタンでそれぞれの表示内容をクリックボードにコピーします。また右下の [A L L] ボタンではホスト名、I P アドレス、ポート番号をまとめてクリックボードにコピーできますので必要に応じてクライアントの設定に利用して下さい。

ポート番号はデフォルト値が表示されていますがクライアントが起動していなければ変更が可能です。ポート番号を変更したい場合は直接ポート番号表示欄でポート番号を修正してから [ポート番号変更] ボタンをクリックします。続いて次に示す確認メッセージが表示されますのでここで [OK] ボタンをクリックするとポート番号が変更できます。



クライアントが1度でも起動した後は入力欄およびボタンがグレースアウトしてポート番号の変更はできなくなります。再度変更したい場合はクライアントをすべて終了し、ライセンスサーバーを一旦終了してから再起動すると変更できるようになります。コンピュータの再起動は必要ありません。

なお各クライアントのサーバー情報を設定した後にライセンスサーバーのポート番号を変更すると各クライアントも全て同じポート番号に変更する必要がありますのでどうしても変更が必要になったときのみ変更するようにしてください。

また、Microsoft社製のWINSOCKコントロールが原因で、マルチ4パッケージサーバーがハングアップなどの不具合が生じる場合があります。この場合、通信待ち回数のデフォルトの3回を5や10などにして試してみてください。

待ち回数を変更する場合は回数を入力して右の「待ち回数変更」ボタンをクリックします。その後マルチ4パッケージサーバーを再起動すると待ち回数の変更が有効になります。Microsoft社側の問題ではありますが、通信待ち回数を変更して動作が改善した場合は今後の商品開発に役立てたいと思いますのでその状況を弊社サポート宛にご連絡下さい。

「バージョン情報／アップデート設定」ボタンをクリックすると次に示すウインドウが表示され、CADTOOLのバージョンやシリアル番号、ライセンス数を確認することができます。

サポートを受ける場合は製品のバージョンやシリアル番号をお伝えいただいた方がスムーズに対応できるので、ここでバージョン情報を確認してご連絡下さい。

バージョン情報／アップデート設定	
CADENAS WEB2CAD CADTOOL	
マルチサーバー バージョン	4.4.0
シリアル番号	00000000
FEM 6	ライセンス数= 0
FEM 7	ライセンス数= 0
FEM 8	ライセンス数= 1
メカニカル7	ライセンス数= 0
メカニカル8	ライセンス数= 1
板金展開9	ライセンス数= 1
フレーム8-2D	ライセンス数= 0
フレーム8-3D	ライセンス数= 0
フレーム8-動解析	ライセンス数= 0
フレーム9-2D	ライセンス数= 0
フレーム9-3D	ライセンス数= 0
フレーム9-動解析	ライセンス数= 0
フレーム10-2D	ライセンス数= 0
フレーム10-3D	ライセンス数= 0
フレーム10-動解析	ライセンス数= 0
フレーム11-2D	ライセンス数= 0
フレーム11-3D	ライセンス数= 0
フレーム11-動解析	ライセンス数= 1
<input type="button" value="手動アップデート"/> <input type="button" value="サポート情報"/> <input type="button" value="戻る"/>	
<input type="button" value="認証情報削除"/> <input type="button" value="情報出力設定"/>	

「手動アップデート」ボタンをクリックするとライブアップデートウインドウが表示されライブアップデートを行うことができます。ライブアップデートを実行するとマルチ4パッケージサーバーは自動で終了します。起動しているクライアントがいないかどうか確認してから実行して下さい。

「認証情報削除」ボタンをクリックすると登録されているシリアル番号とAコード、ライセンス数やライセンスコードの情報が削除され、次回起動時に1で説明したAコード入力ダイアログが表示されるようになります。ライセンスを変更したときはこのボタンで認証情報を削除してから再登録してください。

「サポート情報」ボタンをクリックすると次に示すように発売元のキャデナス・ウェブ・ツー・キャド株式 会社のホームページやCADTOOL／ISOTOOLの製品紹介ページのURL

Lなどが確認できるダイアログが開き、インターネットに接続されている環境ではそこから各ページを開くことができます。



ここには弊社サポートのメールアドレスも表示され、それをクリックするとメーラーが起動して弊社サポートへメールを送ることもできます。

また「マルチパッケージサーバーについて」のところにある“ここ”をクリックするとマニュアルpdfが開きますのでアップデート後に確認してください。

[OK] ボタンをクリックするとこのダイアログを閉じます。

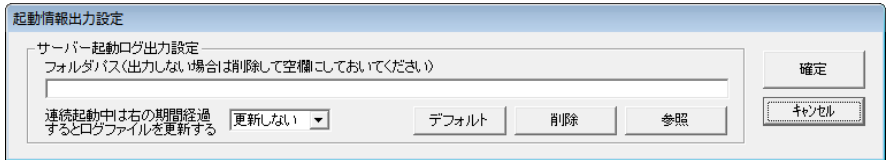
[情報出力設定]ボタンをクリックすると後で説明するサーバー起動ログを出力する起動情報出力設定ダイアログが表示されます。この機能については次で説明します。

ライセンスサーバーの管理画面を閉じる場合は右上の×ボタンか [タスクトレイに入れる] ボタンをクリックします。いずれの場合もサーバーが終了するわけではありません。サーバーの終了はタスクトレイのアイコンを右クリックして [サーバーの終了] をクリックします。がWindows をシャットダウンしても自動的に終了します。

4. 起動情報出力設定について

マルチ4パッケージサーバーではサーバーの起動時間およびサーバー起動中のクライアントの使用状況、サーバーの終了時間をログファイルとして出力することができます。

このログを出力する場合は[バージョン情報／アップデート設定]ボタンをクリックして[情報出力設定]ボタンをクリックして起動情報出力設定ダイアログを表示させます。



サーバー起動ログ出力設定のフォルダパスの入力欄にパスを入力するとそのパスにログを出力しますので出力したい場合はサーバーから書き込み可能なパスを設定します。

[参照]ボタンをクリックするとフォルダの参照ダイアログが表示されますのでそこから選択することもできます。

[削除]ボタンをクリックするとフォルダパスの入力欄が空欄となります。出力しない場合はフォルダパスの入力欄を空欄にしておいてください。

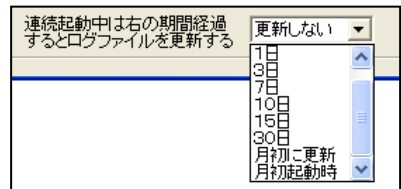
サーバー起動ログ出力設定の[デフォルト]ボタンをクリックすると前章の4. アンインストール後の処理で説明した作業フォルダがフォルダパスに入力されます。

ログはサーバーの起動時にヘッダー＋起動時の時間で構成したファイルに出力していきます。例えば次のログファイルは2011年9月1日0時28分34秒にサーバーを起動したときのファイル名となります。

MULTI4_SERVER_110901082834.LOG

ログファイルの更新期間は[デフォルト]ボタンの左にあるリストボックスで選択できるようになっています。

ここで[更新しない]を選択した場合はサーバーの起動から終了までが1ファイルとなり、期間を選択した場合はその期間が経過するとログファイルが更新されるようになります。



サーバーを連続運転中で“月初に更新”を選択している場合は月が変わった午前0時にログファイルが更新され、サーバーを毎日起動終了するような運用の場合は“月初起動時”を選択しておく、月が変わって初めてサーバーを起動するときにログファイルが更新されます。

これら以外は選択した日数が経過したらログファイルが更新されます。これら更新期間についてはログの管理方法・運用方法等を検討して選択して下さい。なおログファイルの自動削除機能はありませんので必要に応じて管理者が削除してください。

またログファイルが必要ない場合は前述の起動情報出力設定ダイアログのサーバー起動ログ出力設定のフォルダパスを空欄にしておいてください。

Ver 2 のバージョンではモニター情報のファイル出力設定もありましたが、Ver3からネットワーク経由のみでモニター情報を取得するようにしたのでこのモニター情報出力設定は廃止しています。

5. サーバーに使用するハードウェアの変更について

ライセンスサーバーとしてご利用中のハードウェアを別のパソコンへと変更する場合には、ライセンスキーを再発行する必要があります。再発行をご希望の際には、弊社までライセンスキー再発行のための申請書の送付をご依頼下さりますようお願い申し上げます。

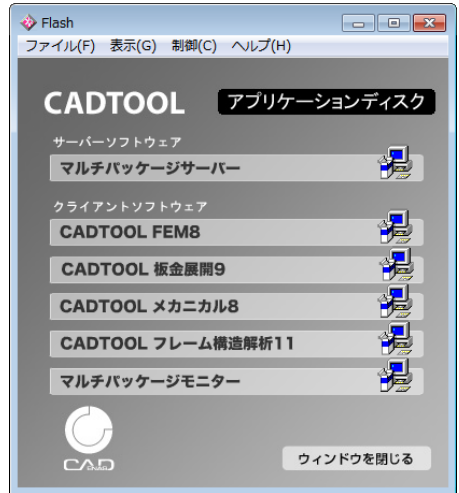
第3章 クライアントの設定

1. インストーラの起動

起動している他のアプリケーションがあればすべて終了し、CADTOOL マルチパッケージCDをドライブに挿入します。マルチパッケージのインストール用メニューが自動実行されます。

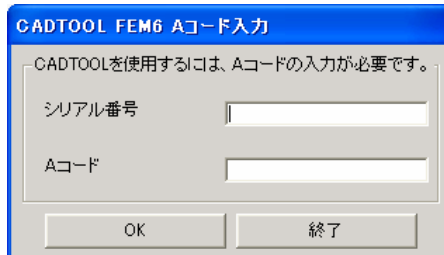
メニューよりライセンスをお持ちの製品ボタンをクリックすると、ソフトウェアのインストールが開始されます。

※クライアントのソフトウェアのインストール手順は、通常版（シングルライセンス）と同じです。通常版のマニュアルにしたがってインストールして下さい。



2. シリアル番号・Aコード（オーソライゼーションコード）入力

フローティングライセンス版のクライアントはライセンスサーバーと同じシリアル番号を使用します。インストール直後に [スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [CADTOOLシリーズ] からそれぞれのパッケージを起動すると次のAコード入力ダイアログが表示されます。（次の例はFEM6になります）



通常版として既に登録しておりAコード入力ダイアログが表示されないものをフローティングライセンス版に変更する場合はクライアントのコマンド起動メニューの [バージョン情報／アップデート設定] で [認証情報削除] ボタンをクリックして認証情報を削除してから再起動すればAコード入力ダイアログが表示されるようになります。

なお認証情報を削除する場合は先にライブアップデートを実行しておき、プログラムを最新の状態にしてから認証削除するようにしてください。

ここでCADTOOLマルチ4パッケージサーバーのユーザー登録用紙に記載されているシリアル番号（マルチ4パッケージサーバーと共通）と各パッケージ用のAコード（パッケージ毎に異なる）をそれぞれ入力して [OK] ボタンをクリックするとそれらが適正なものであればAコードが登録され、続いて各パッケージのサーバー情報入力ダイアログが表示されます。

なおパッケージの種類やバージョンによりシリアル番号を入力した時点でAコードが自動的に入力された場合（Aコードは***で表示されグレースアウトされる）はそのまま [OK] ボタンをクリックしてください。

3. サーバー情報の入力

サーバー情報入力ダイアログではライセンスサーバーの管理画面に表示されるホスト名か、またはIPアドレスのどちらかを入力します。

ポート番号はデフォルト値が表示されますがライセンスサーバーの管理画面と同じポート番号になっているか確認してください。ライセンスサーバーでポート番号を変更してポート番号が違っている場合はこの画面で 直接同じポート番号を入力して下さい。

サーバー情報が入力できたら [OK] ボタンをクリックするとコマンド起動メニューが表示され各クライアントが使用可能となります。

ホスト名が変わったりポート番号を変更した場合はコマンド起動メニューの [バージョン情報 / アップデート設定] で [認証情報削除] ボタンをクリックして認証情報を削除してシリアル番号の入力から設定しなおして下さい。

なお既にマルチパッケージサーバーを導入している場合にシリアル番号とホスト名、ポート番号に変更がなければクライアントの設定は変更することなくマルチ4パッケージサーバーに移行できます。

第4章 CADTOOLマルチ4パッケージモニターの導入

1. インストーラの起動

起動している他のアプリケーションがあればすべて終了し、CADTOOL マルチパッケージCDをドライブに挿入します。マルチパッケージのインストール用メニューが自動実行されます。CDが自動実行されない場合には直接実行を行ってください。

メニューより[マルチパッケージモニター]をクリックするとモニターのインストールが開始されます。

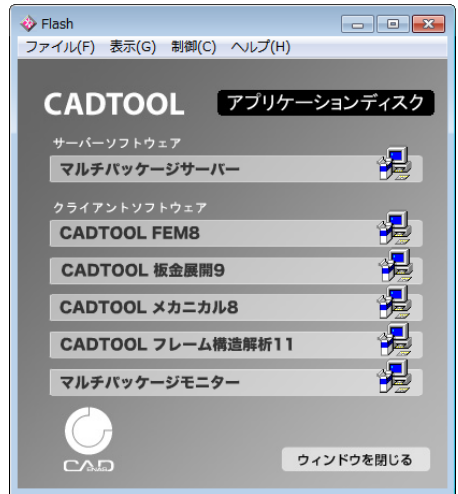
直接実行する場合は、

[スタートメニュー] → [ファイル名を指定して実行] をクリックします。

[ファイル名を指定して実行] のウィンドウが表示されます。

[名前欄] に以下のように入力し、[OK] をクリックします。

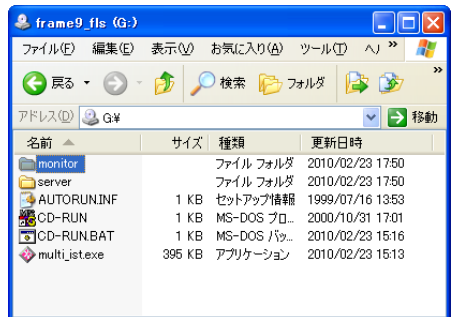
E:\multi_inst.exe (CD-ROMのドライブがEドライブの場合)



またインストーラを直接実行する場合には、マイコンピュータよりCD-ROMの入ったドライブを右クリックし、「開く」を選択しCD-ROMを直接開きます。開いたウィンドウより「monitor」フォルダを開き、フォルダ内のsetup.exeを実行します。

直接実行する場合は、以下を指定します。

E:\monitor¥setup.exe (CD-ROMのドライブがEドライブの場合)



CADTOOLをインストールする時は、必ず Administrator 権限でインストールを行ってください。

2. マルチ 4 パッケージ モニターの起動

セットアッププログラムが起動してからのインストール方法はサーバーや各クライアントと同じ操作になりますのでそちらを参照してマルチ 4 パッケージ モニターのプログラムをインストールしてください。

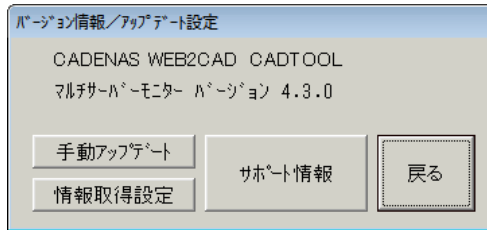
デフォルトの設定でインストールした場合は [スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [CADTOOL シリーズ] > [マルチ 4 パッケージ モニター] をクリックして [CADTOOL マルチ 4 パッケージ モニター] を起動します。

初回起動時はサーバーの起動情報取得方法が未設定なので次に示す起動情報取得設定ダイアログが表示されます。なお [マルチ 4 パッケージ モニター] にはシリアル番号・A コードの入力は必要ありません。

正常にモニター情報が取得できた場合は次に示すようにクライアントの起動情報が表示されます。

パッケージ名称	コンピュータ名(ユーザー名)	開始時刻	作業時間(min)
FEM6	COMPUTERNAME (USERNAME)	10:59.03	2
メカニカル7	COMPUTERNAME (USERNAME)	10:59.14	2
フレーム8-平面	COMPUTERNAME (USERNAME)	10:59.31	2
フレーム8-立体	COMPUTERNAME (USERNAME)	10:59.40	2
フレーム8-動解析	COMPUTERNAME (USERNAME)	10:59.55	2
フレーム9-平面	COMPUTERNAME (USERNAME)	11:00:15	1
フレーム9-立体	COMPUTERNAME (USERNAME)	11:00:20	1
フレーム9-動解析	COMPUTERNAME (USERNAME)	11:00:28	1
フレーム10-平面	COMPUTERNAME (USERNAME)	11:00:45	1
フレーム10-立体	COMPUTERNAME (USERNAME)	11:00:52	1
フレーム10-動解析	COMPUTERNAME (USERNAME)	11:01.06	0

［バージョン情報／アップデート設定］ボタンをクリックすると次のダイアログが表示されます。



［手動アップデート］および［サポート情報］ボタンの機能はサーバーや他のパッケージと同じです。

［情報取得設定］ボタンをクリックすると先に説明した起動情報取得設定のダイアログが表示されますのでモニター情報の取得方法やそれぞれの設定内容を再設定することができます。

正常に起動しているモニタープログラムを終了する場合はモニター画面右上の［×］ボタンか［キャンセル］ボタンをクリックします。

なおVer2ではサーバーの起動情報は［ネットワーク経由］と［ファイル参照方式］が選択できるようになっていましたがVer3からはネットワーク経由のみとなりました。ネットワーク経由ではモニター用に共有フォルダを作る必要はなくサーバー側の設定も不要になっています。

第 5 章 タスクスケジューラ登録方法 (Xp,2003Server)

ここでは [CADTOOLマルチ 4 パッケージサーバー] をインストールしたサーバーマシンをログオンしないで使用するためにタスクスケジューラに登録する方法を説明します。

サーバーマシンを常にログオンして使用する場合は前述のようにプログラムグループでスタートアップを選択しておけばタスクスケジューラに登録する必要はありません。

なおWindows Xp、Windows2003ServerとWindows Vista、Windows7では設定方法が異なり、ここではWindows Xp、Windows2003Server での設定方法を説明していきます。

Windows Vista、Windows7での設定方法は次章を参照してください。

1. サーバーおよびクライアントの起動をチェック

[スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [CADTOOLシリーズ] (あるいはスタートアップ) > [マルチ 4 パッケージサーバー] を選択し、正常に起動できるか確認を行います。また各クライアントのインストールも行って、クライアントも正常に起動できるか確認しておきます。

2. タスクを起動

[スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [システムツール] > [タスク] を選択し [スケジュールされたタスクの追加] を開きます。タスクが見つからない場合には、[コントロールパネル] > [パフォーマンスとメンテナンス] からタスクを開いてください。

[スケジュールされたタスクの追加] を開くと、タスクウィザードが開くので、[次へ] をクリックします。

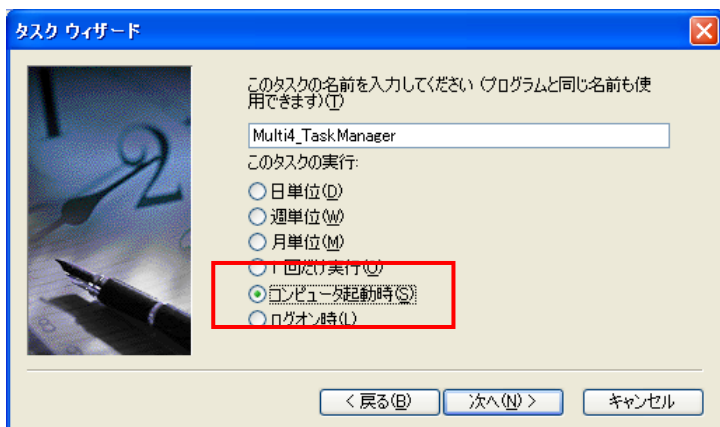
3. タスクウィザードの操作

タスクウィザードのプログラム選択画面が開いたら実行するプログラムにMulti4_TaskManager.exeを選択します。

選択方法は [参照] ボタンをクリックして [CADTOOLマルチパッケージサーバー] をインストールしたフォルダ (デフォルトではC:\Program Files\CADTOOL_Series\Multi4erver) よりMulti4_TaskManager.exeを選択し、[次へ] をクリックします。



続いてタスクの名前を入れる画面になりますがタスク名称はそのままかまいませんので、ここでは“このタスクの実行”で[コンピュータ起動時]を選択して、[次へ]をクリックします。



次にユーザー名とパスワードの設定を行います。ログイン時に使用しているユーザー名が入っていることを確認し、パスワードを入力したら「次へ」をクリックし設定を完了します。

タスク ウィザード

ユーザー名とパスワードを入力してください。このユーザーが開始したのとしてタスクが実行されます。

ユーザー名(A): administrator

パスワード(P): *****

パスワードの確認入力(C): *****

パスワードが入力されないと、スケジュール タスクが実行されない場合があります。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

次に“「完了」をクリックしたときに詳細プロパティを開く”をチェックします。

タスク ウィザード

スケジュールされたタスク:
Multi4_TaskManager

このタスクの実行予定時間は次のとおりです:
システム起動時

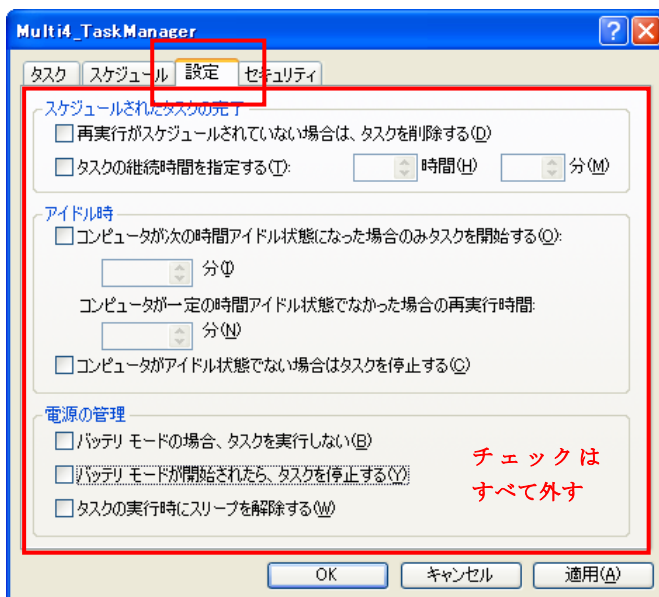
☒ 【完了】をクリックしたときに詳細プロパティを開く(A)

【完了】をクリックすると、このタスクがスケジュールに追加されます。

< 戻る(B) 完了 キャンセル

ここで「完了」ボタンをクリックすると詳細プロパティが開きます。詳細プロパティを開かずに「完了」してしまった場合は再度タスクを開き、そこからMulti4_TaskManagerを選択してマウス右ボタンをクリックしてポップアップメニューから「プロパティ」を開きます。

詳細プロパティが開いたらさらに「設定」タブを開きます。



この「設定」タブにあるチェックをすべて外しておきます。

以上の設定が完了したら、再起動を行えば設定は完了です。

コンピュータが起動したら、ログオン前に各クライアントが正常に起動することを確認してください。

またログの出力やモニター機能はサーバーがログオン前でも機能しますので必要に応じて起動情報出力設定を行っておいてください。

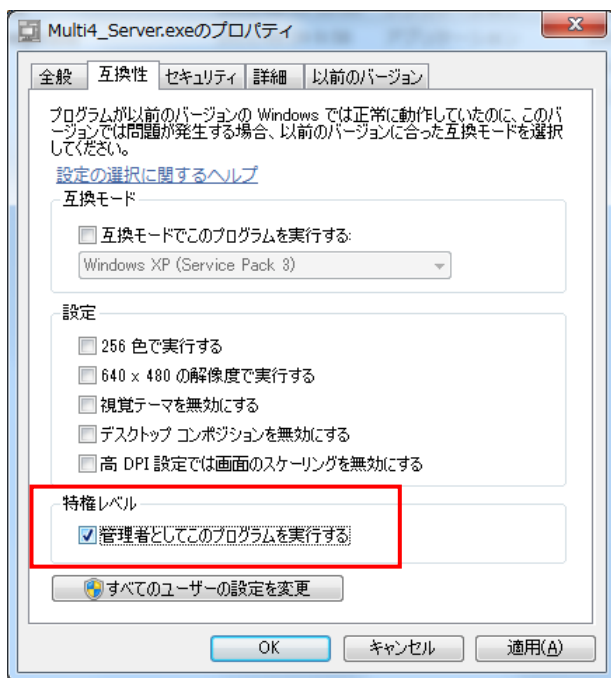
第 6 章 タスクスケジューラ登録方法 (Vista,Win7,2008Server)

ここではWindows Vista、Windows7、2008Serverで [CADTOOLマルチパッケージサーバー] をインストールしたサーバーマシンをログオンしないで使用するためにタスクスケジューラに登録する方法を説明します。

1. 特権レベルの設定

Windows Vista、Windows7、2008Serverではセキュリティが厳しくなりましたので先に特権レベルを設定する必要があります。[CADTOOLマルチパッケージサーバー] をインストールしたらエクスプローラでインストールフォルダを開きます。

デフォルトではC:\Program Files\CADTOOL_Series\Multi4Serverになります。次にそのフォルダにあるMulti4_Server.exeをマウス右クリックしてプロパティを開き [互換性] タブを開きます。



ここの特権レベルにある“管理者としてこのプログラムを実行する”をチェックして [OK] ボタンをクリックします。同様にして同じフォルダにあるMulti4_TaskManager.exeにも特権レベルを設定します。

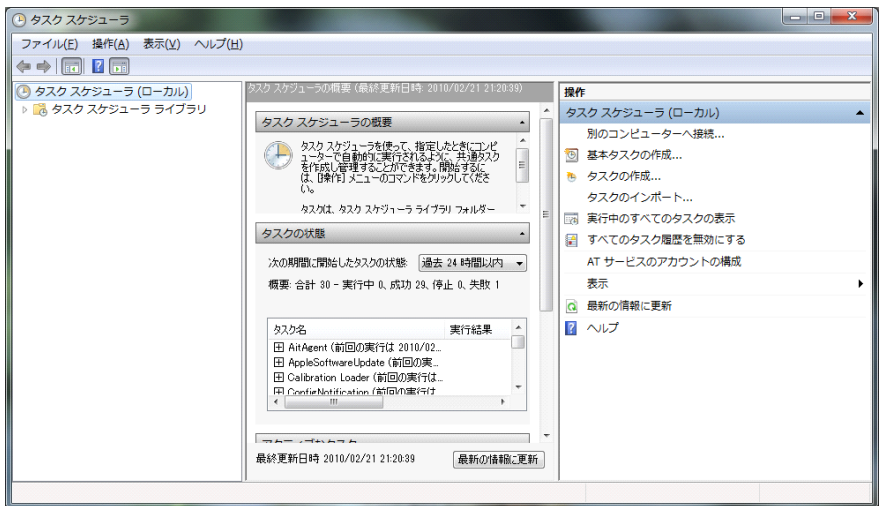
2. サーバーおよびクライアントの起動をチェック

Multi4.Server.exeとMulti4.TaskManager.exeの特権レベルが設定できたら [スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [CADTOOLシリーズ] (あるいはスタートアップ) > [マルチ4 パッケージサーバー] を選択し、シリアル番号・Aコード入力、サーバーライセンス入力を行い正常に起動できるか確認します。

なお特権レベルを設定する前にシリアル番号・Aコード、サーバーライセンスを入力していても特権レベルを設定すると再度入力が必要となります。また各クライアントのインストールも行って、クライアントも正常に起動できるか確認しておきます。

3. タスクを起動

[スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [システムツール] > [タスクスケジューラ] を開きます。



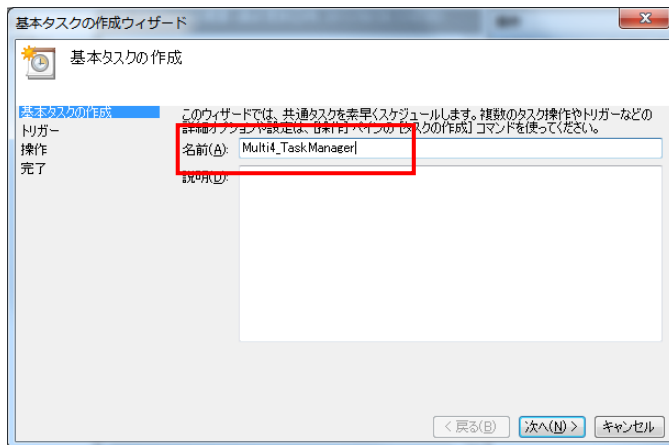
タスクスケジューラが見つからない場合には、[コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [管理ツール] > [タスクスケジューラ] を開いてください。

右の操作の中から[基本タスクの作成]を開くと、基本タスクの作成ウィザードが開きます。

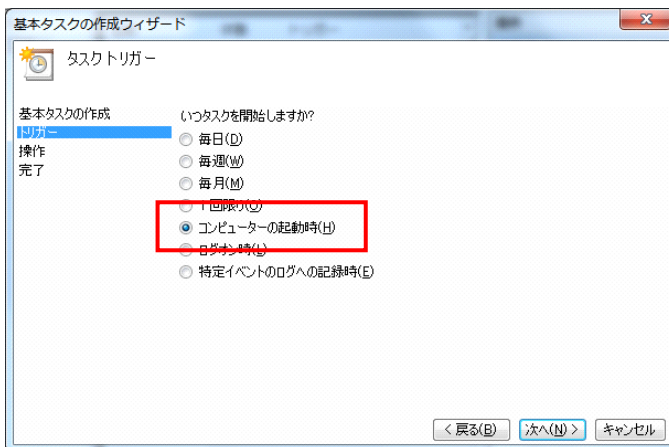
4. 基本タスクの作成ウィザードの操作

基本タスクの作成ウィザードではまず名前を入力します。

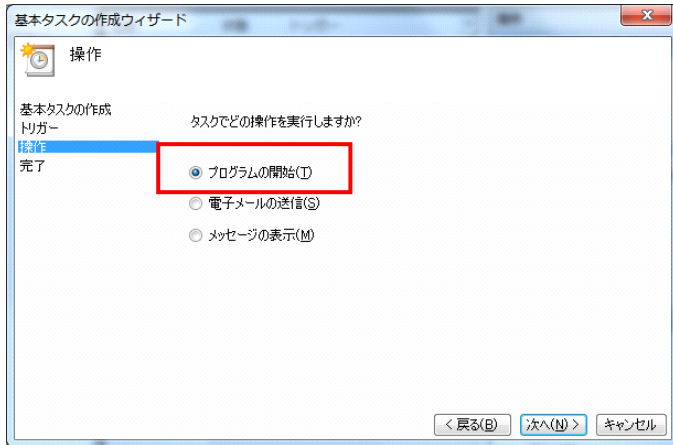
ここでは実行プログラムと同じ名前としてMulti4_TaskManagerと入力します。名前を入力したら [次へ] をクリックします。



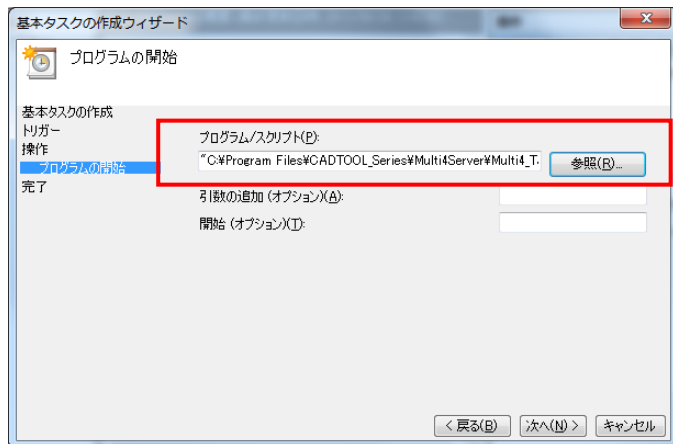
続いてタスクトリガーの設定となりここでは「コンピューターの起動時」を選択して [次へ] をクリックします。



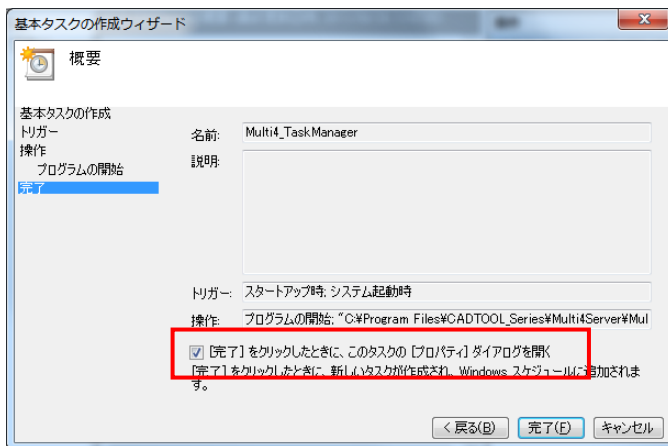
次に操作の設定となり、ここでは「プログラムの開始」を選択して [次へ] をクリックします。



次にプログラムの開始の設定になりますので [参照] ボタンをクリックして [CADTOOL マルチパッケージサーバー] をインストールしたフォルダ（デフォルトではC:\Program Files\CADTOOL_Series\Multi4Server）より Multi4_TaskManager.exe を選択し、[次へ] をクリックします。

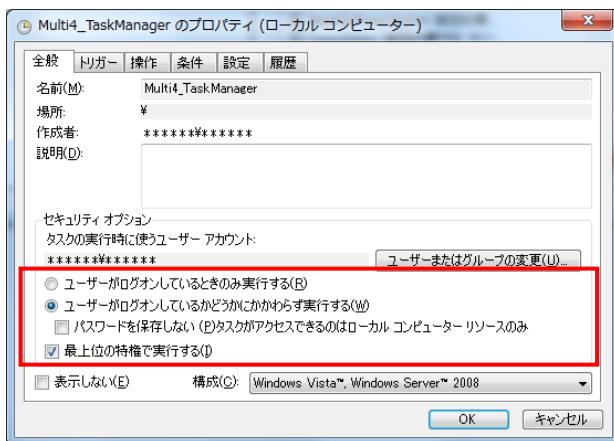


次にタスクの概要が表示されますが“ [完了] をクリックしたときにこのタスクの [プロパティ] ダイアログを開く” をチェックしてから [完了] ボタンをクリックします。

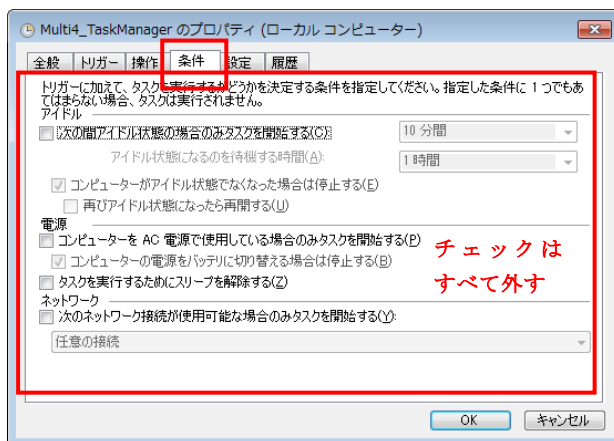


プロパティを開かずに [完了] してしまった場合は再度タスクスケジューラを開き、左側の [タスクスケジューラライブラリ] を選択するとタスクスケジューラの中央にタスクの名前が表示されますので、そこから **Multi4_TaskManager** を選択して右側の操作にある [プロパティ] をクリックすると開きます。

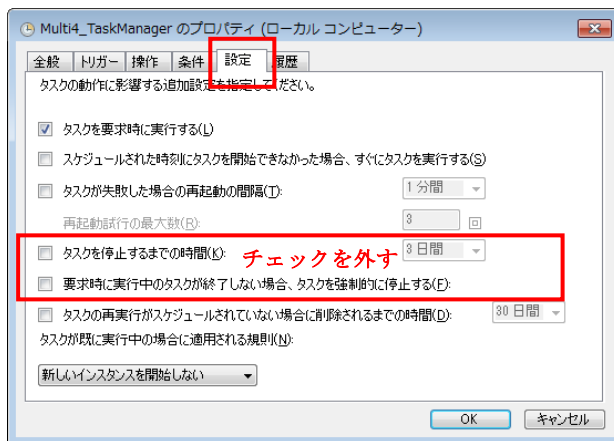
プロパティが開いたら“ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する”を選択して“最上位の特権で実行する”をチェックします。



次に [条件] タブを開いてチェックをすべて外しておきます。

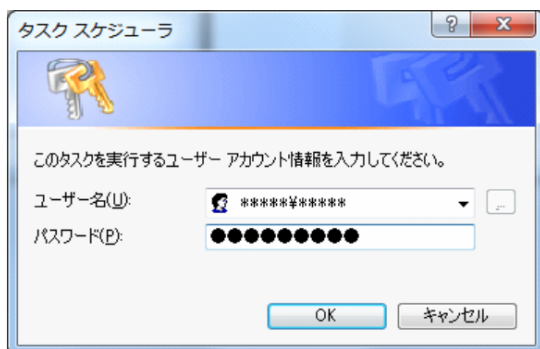


次に [設定] タブを開いて下記に示す枠内のチェックを外しておきます。



これで [OK] ボタンをクリックするとこのタスクを実行するユーザーアカウント情報の入力ダイアログが開きます。

ここでログイン時に使用しているユーザー名が入っていることを確認し、パスワードを入力したら「OK」ボタンをクリックして設定を完了します。



以上の設定が完了したら、再起動を行えば設定は完了です。

コンピュータが起動したら、ログオン前に各クライアントが正常に起動することを確認してください。

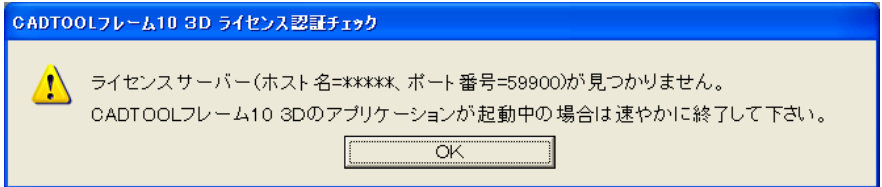
またログの出力やモニター機能はサーバーがログオン前でも機能しますので必要に応じて起動情報出力設定を行っておいてください。

第7章 トラブルシューティング

※フローティングライセンス版で表示される注意メッセージの原因と対策を以下に記述します。

1. ライセンスサーバーが見つからない場合

各クライアント起動時にライセンスサーバーが見つからない場合は次のメッセージが表示されます。この例はフレーム構造解析 10 - 3Dのメッセージになります。



次に原因と対策を説明します。

- ・ライセンスサーバーが起動していない→ライセンスサーバーを起動する。
- ・ネットワークがつながっていない→ケーブルが外れている等、物理的な原因がないか確認する。物理的な原因がない場合はセキュリティソフト等でポートが遮断されていないか確認する。
- ・ライセンスサーバーのホスト名かポート番号が変更されている→クライアントの各コマンド起動メニューから [バージョンアップ/アップデート設定] ボタンをクリックして表示されたダイアログの左下にある [認証情報削除] ボタンをクリックしてサーバー情報を変更して下さい。次にフレーム構造解析 10 のダイアログを示します。



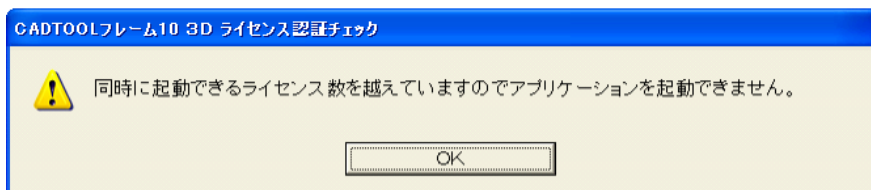
ここで認証情報を削除すると次回起動時にはシリアル番号、Aコードの再入力も必要になります。ライセンスサーバーと同じシリアル番号と各クライアント用のAコードを入力して下さい。

また認証情報を削除する場合は先にライブアップデートを実行しておき、プログラムを最新の状態にしてから認証削除するようにしてください。

なおこのメッセージはクライアントで作業中にライセンスサーバーを終了しても表示されます。間違ってライセンスサーバーを終了した場合はライセンスサーバーを再起動させてから上記メッセージの「OK」ボタンをクリックすれば作業を継続することができます。

2. 同時に起動できるライセンス数を越えた場合

クライアント起動時に同時に起動できるライセンス数を越えた場合は次のメッセージが表示されます。この例はフレーム構造解析10－3Dのメッセージになります。



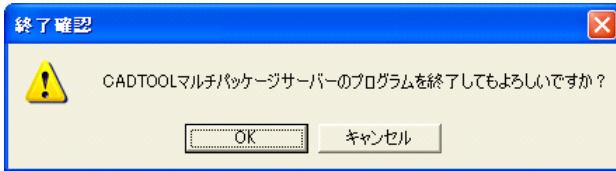
この場合はメッセージにある通りで同時に起動できるライセンス数を越えて起動しようとしていますので起動はできません。

ライセンスサーバーの管理画面には各パッケージ（フレーム構造解析では各コマンド）を起動しているコンピュータ名とユーザー名が表示されていますので、起動したまま使っていないユーザーがいれば終了してもらってから起動してください。

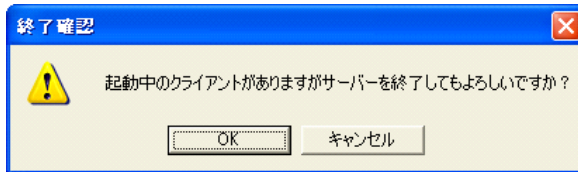
またこのメッセージが頻繁に表示されるようであればライセンス追加のご検討をお願いいたします。

3. ライセンスサーバー終了時の確認

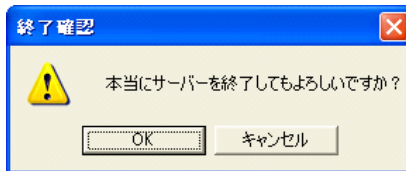
ライセンスサーバーの終了はタスクトレイのアイコンを右クリックして「プログラムの終了」をクリックすると右に示す終了確認メッセージが表示されます。



ここで「OK」をクリックしたときに起動中のクライアントがある場合はさらに右の終了確認メッセージが表示されますので本当に終了しても良いか確認してから「OK」ボタンをクリックしてください。



クライアントが起動中の場合はさらに下の終了確認メッセージが表示され、ここで「OK」ボタンをクリックするとライセンスサーバーが終了します。



なおいずれのメッセージでも「キャンセル」ボタンをクリックすると終了処理をキャンセルしますが、クライアント起動中にライセンスサーバーを起動しているコンピュータをシャットダウンするとこれらのメッセージは表示されずにライセンスサーバーが終了しますので注意してください。